

政策評価調書（個別票）

【政策ごとの予算額】													
政策名	未来社会を見据えた先端基盤技術の強化				番号	27	(千円)						
	予算科目				他に記載のある 個別票の番号	予算額							
	会計	組織／勘定	項	事項		7 年度 当初予算額			8 年度 概算要求額				
政策評価の対象と なっているもの	一般	文部科学本省	研究開発推進費	先端基盤技術の強化に必要な経費	25	<	11,091,966	>	の内数	<	15,779,549	>	の内数
	小 計				一般会計								
特別会計													
						<	11,091,966	>	の内数	<	15,779,549	>	の内数
						<		>	の内数	<		>	の内数
政策評価の対象と なっていないが、 ある政策に属する と整理できるもの	一般	文部科学本省	国立研究開発法人物質・材料 研究機構運営費	国立研究開発法人物質・材料研究 機構運営費交付金に必要な経費			14,457,995				16,547,849		
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人物質・材料 研究機構施設整備費	国立研究開発法人物質・材料研究 機構施設整備に必要な経費（新規）							551,792		
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人科学技術振 興機構運営費	国立研究開発法人科学技術振興機 構運営費交付金に必要な経費	20, 21, 22, 23, 25, 28, 29	<	100,771,968	>	の内数	<	109,236,026	>	の内数
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人科学技術振 興機構施設整備費	国立研究開発法人科学技術振興機 構施設整備に必要な経費	20, 21, 22, 23, 25, 28, 29	<	414,105	>	の内数	<	2,078,568	>	の内数
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人理化学研究 所運営費	国立研究開発法人理化学研究所運 営費交付金に必要な経費	20, 24, 25, 28, 29	<	57,736,328	>	の内数	<	64,443,028	>	の内数
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人理化学研究 所施設整備費	国立研究開発法人理化学研究所施 設整備に必要な経費（新規）	20, 25, 28, 29	<		>	の内数	<	4,841,000	>	の内数
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人量子科学技 術研究開発機構運営費	国立研究開発法人量子科学技術研 究開発機構運営費交付金に必要な 経費	28, 29	<	21,819,020	>	の内数	<	22,736,873	>	の内数
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人量子科学技 術研究開発機構施設整備費	国立研究開発法人量子科学技術研 究開発機構施設整備に必要な経費	28, 29	<	1,560,723	>	の内数	<	5,920,870	>	の内数
	小 計				一般会計		14,457,995				17,099,641		
特別会計													
						<	182,302,144	>	の内数	<	209,256,365	>	の内数
						<		>	の内数	<		>	の内数
合 計					一般会計		14,457,995				17,099,641		
					特別会計								
						<	193,394,110	>	の内数	<	225,035,914	>	の内数
						<		>	の内数	<		>	の内数

令和 6 年度実施施策に係る政策評価書

(文R6－9－1)

施策名	9－1．未来社会を見据えた先端基盤技術の強化	部局名	研究振興局 振興企画課	作成責任者	生田 知子
施策の概要	我が国の未来社会における経済成長とイノベーションの創出、ひいてはSociety5.0の実現に向けて、幅広い分野での活用の可能性を秘める先端計測、光・量子技術、材料科学技術等の共通基盤技術の研究開発を推進する。また中長期的に我が国が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術について、民生利用のみならず公的利用につながる研究開発及びその成果の活用を推進する。			政策評価 実施時期	令和 6 年度
達成目標及び測定指標	(別添 1) 「科学技術分野の政策体系等」 のとおり				
施策の実施状況	(別添 2) 「科学技術分野の施策の実施状況 (9－1)」 のとおり				
施策目標に係るレビューシート	https://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/block30_00108.htm				
	施策の評価 【有効性の観点から】	【達成目標9-1-1】 マテリアル分野における先端設備の全国的な共用体制を整備し、幅広いユーザが先端設備を利用可能な研究開発環境を構築しているほか、先端設備から創出されるマテリアルデータを収集・蓄積し、国内の研究者で共有する仕組みを構築するとともに、データ駆動型研究手法の開発や産学官が連携した材料の社会実装に向けた取組を実施している。各目標値は概ね順調に推移しており、先端設備を利用した研究成果の創出やデータ駆動型研究の普及、社会実装に向けた研究開発等が着実に進捗していることから、当該施策の有効性が認められる。なお、データ駆動型研究をさらに推進するため、令和 7 年度からのデータ利活用に係る本格的運用の開始に向けた取組を着実に実施することが重要である。 【達成目標9-1-2】 本施策は50量子ビット以上の超伝導方式量子コンピュータの公開を達成するなど、目標に見合った実績を継続的にあげている。他方で、量子技術イノベーション会議においては、国際連携を進める上で、我が国の強みとなる技術と人材が重要であるといった意見もいただいております。量子技術分野の基礎研究を担う人材育成の取組拡大について課題が見られる。 【達成目標9-1-3】 本施策は、研究開発ビジョン（一次、二次）に基づき、全24の研究開発構想の内、22の研究開発構想について研究開発課題を公募し、9の研究開発構想について採択、順次研究開発を進めている（令和 6 年 6 月 27 日時点）。なお、研究開発課題は開始されたところであり、まだ外部評価は実施されていない。今後は外部評価も通して施策の進捗状況を評価していく。 【達成目標9-1-4】 ムーンショット目標の達成に向けて設定した毎年度のマイルストーン（目標値）の達成状況の外部有識者による年度評価・外部評価において、マイルストーンの達成あるいは達成への貢献が期待通り見込まれ、成果が得られている、もしくは、想定を大幅に上回る成果が得られているプロジェクトが44件、マイルストーンの達成あるいは達成への貢献に対して、一部の見通しが定かでないプロジェクトが11件であった。			

評価結果	今後の施策への反映の方向性	【達成目標9-1-1】 マテリアル革新力強化戦略等に基づき、先端設備の整備・高度化、良質なマテリアルデータの収集・蓄積、利活用、データ駆動型研究手法の開発や全国への普及、産学官が連携した材料の社会実装に向けた取組等を引き続き推進し、マテリアル分野の研究開発の強化や研究人材の育成を図り、革新的な材料を創製し、社会実装にも繋がる取組を推進する。特に、令和7年度からはデータ利活用に係る本格運用を開始する。 【達成目標9-1-2】 世界中で日進月歩で開発競争が激化する量子技術分野において我が国が優位性を確保し、量子産業を創出・発展させていくため、令和6年4月に策定した「量子産業の創出・発展に向けた推進方策」や3つの量子戦略に基づき、国際連携の拡大や企業の海外進出の支援、そのために不可欠な、世界から注目される我が国の技術開発力の更なる強化とそれを支える人材育成に関する取組の推進を図る。 【達成目標9-1-3】 引き続き、研究開発課題の公募・採択を進め、経済安全保障上重要な先端技術の研究開発を強力に推進し、研究成果を民生利用のみならず、公的利用につなげていく。 【達成目標9-1-4】 ムーンショット目標の達成に向けて、外部有識者による年度評価・外部評価及び内閣府が設置した産業界、研究者、関係府省等で構成される戦略推進会議の助言等を踏まえたプロジェクトの継続、加速・減速、変更、終了等（ポートフォリオの見直し等）の実施を通じて、挑戦的な研究開発を推進する。
学識経験を有する者の意見	—	